

●モンゴル

消費者信頼感指数(CCI)

モンゴルの消費者の経済に対する信頼は、2020年第3四半期に前年よりわずかに悪化した。2020年第3四半期の消費者信頼感指数(CCI)は前年同期より2.2ポイント低下し81.3である。消費者の現在のビジネスおよび労働市場の状況に対する評価から計算された現況指数は、前年

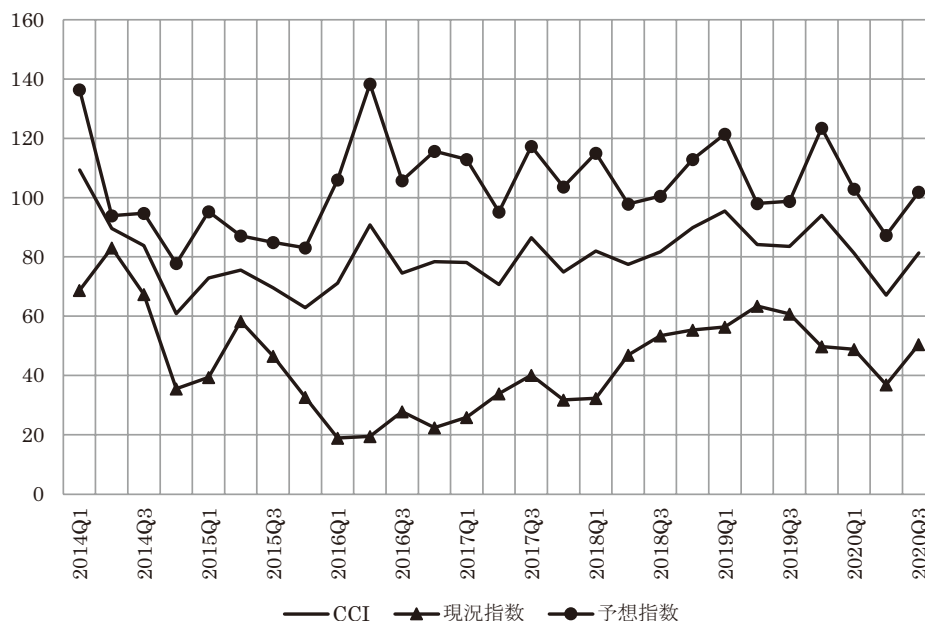
同期の60.7から50.5に急激に低下した。消費者のビジネス、収入、労働市場の状況に対する短期的な見通しを示す期待指数は、前年同期の98.7から101.8に上昇した。しかし各指数はそれぞれ前期比では改善している(図)。

COVID-19関連の検疫による経済の縮小は、雇用機会を減らし、現況に対する消費者の評価を低下させた。政府が9月21日に検疫を終了したため、ビジネスの状

況と雇用機会に対する消費者の期待が高まっている。

2020年第3四半期のウランバートルのCCIは79であるが、現況指数は56、期待指数は94である。農村部の消費者信頼感都市部よりも高く、平均して84のCCIである。中央地域の消費者は最も楽観的でCCIが87である。東部、西部、カンガイ地域の消費者は、ウランバートルの消費者よりも楽観的で、CCIはそれぞれ

図 消費者信頼感指数(CCI)



81、82、85である。ウランバートルの現状指数は他の地域よりも高かったが、ウランバートルの期待指数は他の地域よりも大幅に低かった。これは、COVID-19パンデミックに関する都市部の消費者の特別な意識に関連している可能性がある。

2021年の第1四半期には、耐久消費財の売上高は2020年の平均レベルから減少すると予想される。これらの商品の需要も前年のレベルと比較して低くなるようである。この減少は主に、観光、白物家電、家具の需要の減少によるものである。今後6か月で、消費者の15.7%（前年同期より0.4ポイント低い）が自動車の購入を計画し、11%（前年同期より3.1ポイント低い）の世帯が主要な家電製品の購入を計画し、6.7%（前年同期より0.9ポイント高い）の消費者は不動産を取得することを計画している。COVID-19の世界的流行による旅行禁止により、観光需要は急激に減少するだろう。2020年第1四半期以降、海外・国内リゾートへの旅行計画は減少傾向にある。また、海外旅行計画は、今後6ヶ月間で前年同期比80%減となる。国内リゾートは同期間に前年比30%減少

する予定である。

2020年第3四半期の時点で、今後6か月の予想インフレ率は3.7%と推定され、この推定の上限と下限はそれぞれ4%と3.5%に相当する。2019年第3四半期に実施された調査によると、2020年第3四半期の予想インフレ率は3.6%である。2020年第3四半期の実際のインフレ率は-1%である。四半期ごとのCCI推定が始まった2014年の第1四半期以降、6か月の予想インフレ率は平均3.4%であるが、実際のインフレ率は平均2.3%である。

1年先または2021年第3四半期のインフレ率は7.9%と予想され、前年同期の予想レベルから2ポイント高くなっている。この推定値の上限と下限は、それぞれ8.3%と7.4%である。2020年第3四半期の年間インフレ率は6%と予想されていたが、実際のインフレ率は1.7%である。2014年の第1四半期以降、年間インフレ率の予想は平均5.4%であるが、実際のインフレ率は5%である。

さらに、米ドルの為替レートの上昇を期待している調査参加者の数は、前年比2.0ポイント増加して全体の42.6%に相当し

た。消費者は今後6か月間で2918 トゥグルグ/米ドルの為替レートを期待している。2020年第3四半期の実際の平均為替レートと比較すると、この予想為替レートは約64トゥグルグ高かった。

住宅価格期待指数は、来年の住宅価格変動に対する消費者の認識に基づいて算出されている。消費者が住宅価格は安定していると予想している場合、この指数は1を取る。消費者が住宅価格の上昇を期待している場合、指数は1より大きく、消費者が価格の低下を期待している場合、指数は1より小さくなる。経済活動の減速にもかかわらず、消費者は住宅価格が上昇すると予想し、指数は2020年第3四半期に1.2となった。

国立調査コンサルティングセンター（NRCC）所長
モンゴル国立大学経済学部准教授
バトチュレン・アルタンツェツェゲ
モンゴル日本人材開発センター所長
ツェントダワー・ダワードルジ
NRCC 研究員
モンゴル国立大学経済学部准教授
バトベヘ・ソヨルマー

	2016年	2017年	2018年	2019年	2019年 1Q	2019年 2Q	2019年 3Q	2019年 4Q	2020年 1Q	2020年 2Q	2020年 3Q	2020年 8月	2020年 9月	2020年 1-9月
実質 GDP 成長率 (対前年同期比:%)	1.2	5.3	7.2	5.2	8.6	6.4	4.6	2.2	▲10.7	▲9.1	-	-	-	-
鉱工業生産額 (対前年同期比:%)	12.3	13.0	4.8	2.4	11.5	6.6	2.8	6.0	▲17.1	▲14.7	▲6.6	▲13.1	▲1.0	▲12.8
消費者物価上昇率 (対前年同期比:%)	1.1	4.3	6.8	7.3	7.0	7.7	8.4	6.0	6.1	3.6	2.4	2.1	1.7	4.0
登録失業者 (千人)	34.4	25.5	25.0	20.8	21.8	23.0	20.4	20.8	19.4	19.6	17.8	18.3	17.8	17.8
対ドル為替レート(トゥグルグ)	2,148	2,441	2,473	2,664	2,639	2,645	2,667	2,704	2,757	2,799	2,847	2,849	2,854	2,801
貨幣供給量 (M2) の変化 (対前年同期比:%)	21.0	30.5	22.8	7.0	22.6	16.6	14.0	7.0	3.8	5.5	9.8	5.0	9.8	9.8
融資残高の変化 (対前年同期比:%)	6.1	9.6	26.5	5.1	23.5	18.3	11.1	5.1	▲1.8	▲4.6	▲4.4	▲4.8	▲4.4	▲4.4
不良債権比率 (%)	8.5	8.5	10.4	10.1	10.7	10.5	10.9	10.1	10.7	11.0	11.4	11.3	11.4	11.4
貿易収支 (百万 USドル)	1,558	1,863	1,137	1,492	486	559	302	145	▲126	494	851	179	193	1,219
輸出 (百万 USドル)	4,916	6,201	7,012	7,620	1,772	2,167	2,007	1,674	1,036	1,792	2,319	690	668	5,147
輸入 (百万 USドル)	3,358	4,337	5,875	6,128	1,286	1,608	1,705	1,529	1,162	1,299	1,468	511	475	3,928
国家財政収支 (十億トゥグルグ)	▲3,660	▲1,742	3	▲628	194	108	183	▲1,112	▲276	▲1,922	▲541	▲191	▲83	▲2,739
国内貨物輸送 (対前年同期比:%)	20.0	15.3	14.6	7.4	9.5	5.3	16.7	▲1.8	▲6.3	▲8.5	1.9	-	-	▲3.9
国内鉄道貨物輸送 (対前年同期比:%)	7.9	9.1	13.5	13.5	12.6	14.3	14.4	12.8	10.8	12.6	13.0	2.9	▲3.3	12.3
国内道路貨物輸送 (対前年同期比:%)	78.4	33.6	17.3	▲6.6	1.5	▲13.6	21.6	▲38.4	▲54.5	▲68.8	▲19.9	-	-	▲43.3
成畜死亡数 ((対前年同期比:%)	2.3	▲38.8	3.0	▲58.0	▲73.6	▲66.2	▲65.9	▲57.6	89.2	78.0	78.4	-	-	80

(注) 消費者物価上昇率、登録失業者数、貨幣供給量、融資残高、不良債権比率は期末値、為替レートは期中平均値。
(出所) モンゴル国家統計局『モンゴル統計年鑑』、『モンゴル統計月報』各号 ほか